

諸井教学を現代に生かす

共催：天理大学宗教学科研究室・諸井慶徳先生勉強会



教校校長室にて（昭和29年夏）

諸井慶徳博士御生誕100年にあたる今年、宗教学科研究室・諸井慶徳先生勉強会共催で、批評家・若松英輔氏を迎え、混迷を来たす現代を諸井慶徳博士ならいかに捉えるかという視点でシンポジウムを開催します。

諸井慶徳博士（1915～1961） 東京大学文学部宗教学科卒業、文学博士。本部准員、天理教山名大教会4代会長、天理教校長、天理文化（現おやさと）研究所長、天理大学文学部宗教学科長、日本宗教学会理事等歴任。

日時：立教**178**年（平成**27**年）**11**月**25**日（水）
午後**1**時～**4**時**30**分

場所：ふるさと会館大ホール（天理大学9号棟）

基調講演1 若松英輔氏（批評家）

「信の形而上学—宗教哲学者諸井慶徳の地平—」

宗教が、宗派を超えた靈性へと変貌し、神学とは異なる哲学の地平を切り拓こうとした諸井先生の業績を継承する意味を考えたいと思います。

基調講演2 澤井義次氏（天理大学宗教学科教授）

「信の意味構造—諸井教義学の地平—」

信の意味構造の探究によって、人間存在の根柢を明らかにしようとした諸井先生の宗教学的視座は、諸井教義学の地平と密接不可分に連関しています。そうした諸井先生の教学研究の現代的意義を考えたいと思います。

パネルディスカッション

パ
ネ
リ
ス
ト

若松英輔氏（批評家）

澤井義次氏（天理大学宗教学科教授）

飯田照明氏（天理大学名誉教授、天理図書館前館長、諸井慶徳先生勉強会顧問）

森井敏晴氏（文学博士、天理大学ふるさと会顧問、諸井慶徳先生勉強会顧問）

司会：岡田正彦氏（天理大学宗教学科教授）

【参加方法】参加費無料、事前申し込み不要

【問い合わせ】諸井慶徳先生勉強会（代表：望月伸朗）事務局

〒492-8233 愛知県稲沢市奥田町古知野5051-12 天理教明義分教会内（春日義幸）

TEL&FAX：0587-32-8885 携帯：080-3939-5426 E-mail：yoshinori.m1915@gmail.com